

■ コンプライアンス

コンプライアンスの浸透と徹底

日本化薬グループは、コンプライアンスを企業活動における最優先課題と位置付け、2011年6月に「[日本化薬グループ行動憲章・行動基準](#)」を制定しました。コンプライアンスを尊重する企業風土を醸成するために、各事業場、グループ会社（国内）に倫理責任者と担当者を置き、倫理委員会と連携を取りながらコンプライアンス推進活動を実施し、着実な運用を図っています。

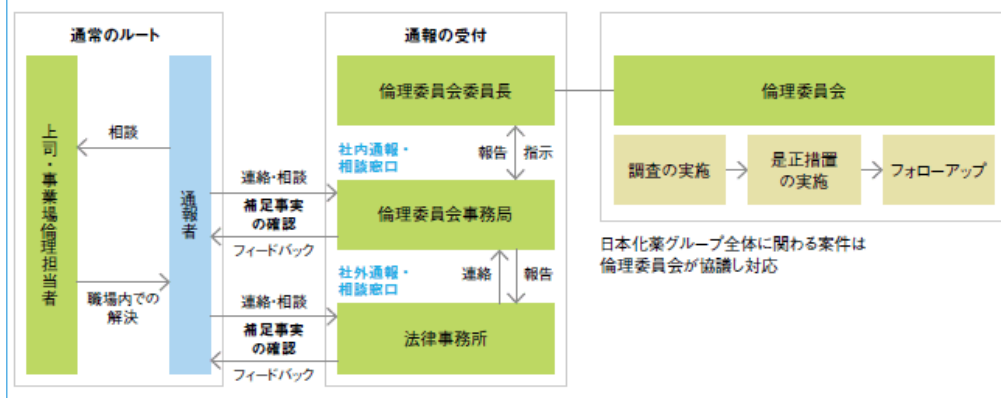
コンプライアンスを実践するために、毎年教育研修を行っており、2012年度は新入社員、新任管理職を対象とした研修も含め、国内事業場40カ所で教育研修を行いました。

また、毎年10月を「コンプライアンス推進月間」とし、事業場単位での教育研修と全従業員対象の「コンプライアンス・アンケート」を実施しています。2012年度は日本化薬グループ会社の役員・社員3,648名から回答を得ました。アンケート結果から順守状況や推進活動に関する課題の抽出を行い、これをもとに次年度の行動計画を策定し、コンプライアンス意識向上のためのPDCAサイクルを回しています。

また、従業員を対象にした「通報・相談窓口」を社内と社外に設置し、法令や社内規則、行動基準に反する事象を、未然に防止、早期に是正することに努めています。



● 日本化薬グループ内部通報制度

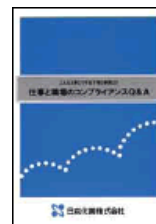


コンプライアンス推進活動

日本化薬グループは、倫理委員会事務局が策定し、倫理委員会が承認した年度ごとの「コンプライアンス行動計画」に基づいて、コンプライアンス推進活動を実践しています。

1. コンプライアンス推進月間

毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、全従業員のコンプライアンス意識の向上に取り組んでいます。この推進月間に合わせて日本化薬グループ（国内）の全従業員を対象に「コンプライアンス・アンケート」（CSRの内容も含む）を実施し、社内報にて全社の結果を発表しています。結果をグラフ化しこれまでの傾向を「見える化」して、それぞれの強みや弱みを分析しフィードバックをしています。これをもとに次年度のコンプライアンス・アクションプランを作成しコンプライアンス意識向上のためのPDCAサイクルを回しています。



2. 年間を通じたコンプライアンス活動

- 各部署で「コンプライアンス活動アクションプラン」を策定し、自主的な推進活動を展開しています。
- コンプライアンス専任者が、日本化薬グループ（国内）の全従業員を対象として継続的な教育・研修を実施しています。
- 企業不祥事に関する注意喚起と各部署での研修のための「コンプラ・ニュース」を定期的に発信しています。
- 自社の事例を含め、具体的な事例を通してコンプライアンス意識を高めるために作成した小冊子「仕事と職場のコンプライアンスQ&A」を部署での研修に活用しています。

日本化薬グループでは、私たちが変わらずに持ち続けていきたい考え方として「KAYAKU spirit」（最良の製品を

不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること)を制定しています。

日本化薬グループの全役職員(派遣社員、アルバイトなどを含む)がコンプライアンスの重要性を十分理解・意識して、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指していきます。